東京ジャーミイ金曜日のホタバ

2007 年 12 月 22 日

信者の特質-2-

親愛なる兄弟姉妹の皆様。今週のホトバでも、信者の特質について述べていきたいと思います。

1-信者は寛容で、許す人である。

「親切な言葉と寛容とは、侮辱を伴う施しものに優る。アッラーは富有にして慈悲深くあられる。」（雌牛章第263節）「あなたがたが善い行いを公然としても、そっと隠れてしても、または被った害を許してやっても、本当にアッラーは寛容にして全能な方であられる。」（婦人章149節）「寛容を守り、道理にかなったことを勧め、無知の者から遠ざかれ。」（高壁章第199節）「だが耐え忍んで赦してやること、それこそ（アッラーの決められた）確固たる人の道というもの。」（相談章第43節）

2-信者は富や財産に影響されない。

「（かれに協力する者とは）もしわれの取り計いで地上に（支配権を）確立すると礼拝の務めを守り、定めの喜捨をなし、（人びとに）正義を命じ、邪悪を禁ずる者である。本当に凡ての事の結末は、アッラーに属する。」「現世の生活を冀っている者たちは言った。『ああ、わたしたちもカールーンに与えられたようなものが戴けたならばなあ。本当にかれは、素晴しい幸運の持主です。』だが（真の）知識を授けられていた者たちは言った。『情けないことを言うな。信仰して善い行いに励む者にとっては、アッラーの報奨こそ最も優れています。だがよく耐え忍ぶ者だけが、それを戴くだろう。』」（物語章第79－80節）

3-信者は両親に対しよく振舞う。

「あなたの主は命じられる。かれの外何者をも崇拝してはならない。また両親に孝行しなさい。もし両親かまたそのどちらかが、あなたと一緒にいて老齢に達しても、かれらに『ちえっ』とか荒い言葉を使わず、親切な言葉で話しなさい。」」（夜の旅章第23節）「だがもし、あなたの知らないものを、われに（同等に）配することを、かれら（両親）があなたに強いても、かれらに従ってはならない。だが現世では懇切にかれらに仕え、悔悟してわれの許に帰る者に従え。やがてあなたがたはわれに帰り、われはあなたがたの行ったことを告げ知らせるのである。」（ルクマーン章第15節）

4-信者は困難に耐える。

「それともあなたがたは、先に過ぎ去った者たちが出会ったような（試みが）まだ訪れない先に（至上の幸福の）園に入ろうと考えるのか。かれらは災難や困窮に見舞われ、（不安の中に）動揺させられて、使徒も一緒の信者たちも、『アッラーの御助けは、何時（来る）だろう。』と叫んだ程であった。ああ、本当にアッラーの御助けは近付いている。」（雌牛章第214節）「どれ程の預言者が、信心深い多くの敬神な衆と共に戦ったか。かれらはアッラーの道において、遭遇したことに気力を落さないで、また弱気にもならず屈しなかった。誠にアッラーは耐え忍ぶものを愛でられる。」（イムラーン家章第146節）「人びとは、『わたしたちは信じます。』と言いさえすれば、試みられることはなく、放って置かれると考えるのか。」（蜘蛛章第2節）「災難に遭うと、『本当にわたしたちは、アッラーのもの。かれの御許にわたしたちは帰ります。』と言う者」（雌牛章第156節）

5-信者は平和や和解をもたらす。

「信者たちは兄弟である。だからあなたがたは兄弟の間の融和を図り、アッラーを畏れなさい。必ずあなたがたは慈悲にあずかるのである。」（部屋章第10節）「もしも信者が2つに分れて争えば、両者の間を調停しなさい。もしかれらの一方が他方に対して、（一方的に）無法なことをするならば、無法者がアッラーの命令に立ち返るまで戦いなさい。だがかれらが立ちかえったならば、正義と公平を旨としてかれらの間を調停しなさい。本当にアッラーは公正な者を愛される。」（部屋章第9節）「もしあなたがたが、両人の破局を恐れるならば、男の一族から一人の調停者を、また女の一族からも一人の調停者をあげなさい。両人がもし和解を望むならば、アッラーは両人の間を融和されよう。本当にアッラーは、全知にして何ごとにも通暁しておられる。」（婦人章第86節）「もし家に誰もいないと分ったならば、許しがあるまで、それに入ってはならない。もし帰るよう言われた時は帰れ。それはあなたがたのために一段と清廉である。アッラーはあなたがたの行うことを知っておられる。」（御光章第28節）